

整 理 番 号 2023P-071

補 助 事 業 名 2023年度 更生保護施設の建築 補助事業

補助事業者名 更生保護法人 東京実華道場

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

全ての居室を個室化し入所者の居住環境を改善することで、受入れをより一層促進させる。エレベーター設置等のバリアフリー化により高齢者、障がい者に対する円滑な福祉の支援を実施する。集会室の機能を拡張充実させた地域交流室を整備し、更生保護関係者の他、地域住民に開放することで従前以上に地域住民との交流の場を確保する。AEDの設置や町会と協力して災害備蓄品を施設内に常備することで地域社会に貢献できる開かれた施設を目指す。

(2) 実施内容

更生保護施設の建築 (URL) <https://www.tokyo-jikka-dojo.jp/>

施設の老朽化に伴い、定員30名の新施設を建築した。居室は全室個室。エレベーター設備や段差の解消により、高齢や障がいの問題を抱える方々にも優しい設計。建物中央を境にトイレや浴室等、左右独立した生活空間を設けており、感染症拡大の防止にも効果がある。また、地域交流室を設け、地元の更生保護関係者や地域住民に開放する他、地域の災害備蓄品保管場所の提供や、AEDを常時配備する等の取り組みも行っており、地域の防災拠点としての機能も期待されている。

〈建物外観、内部等の写真を貼ってください〉



建物外観



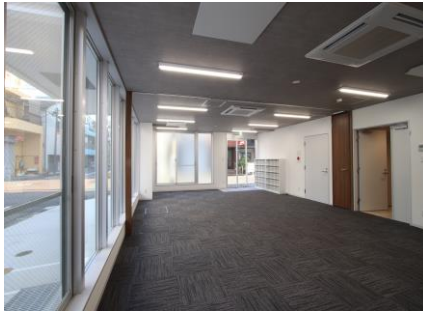
正面玄関



1階エントランスホール



1階エレベーターホール



1階集会室兼地域交流室



2階食堂



3階個室



4階トイレ

2 予想される事業実施効果

入所者の居住環境が大幅に改善されたことで、受入れがより一層促進される。エレベーターの設置や段差を解消することで、高齢や障がいの問題を抱える支援の網の目からこぼれていた人々を支援することが可能となった。集会室の機能を拡張充実させた地域交流室を整備したことで、入所者向けのプログラムを開催する他、多くの更生保護関係者や地域住民が集い、交流できる場を従前以上に提供することが可能となった。また、常時稼働する施設の特性をいかし、AED等の設置や地元町会の防災備蓄品を施設で保管するなど、地域における防災拠点としての期待が高まっている。

3 補助事業に係わる成果物

本事業に係わる印刷物等

(URL) <https://www.tokyo-jikka-dojo.jp/>

ステップ押上 新施設落成記念式典

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 更生保護法人 東京実華道場

(コウセイホゴホウジン トウキョウジッカドウジョウ)

住 所： 〒130-0002

東京都墨田区業平二丁目10番11号

代 表 者： 理事長 森山 秀実 (モリヤマ ホツミ)

担 当 部 署： 更生保護施設 ステップ押上 (コウセイホゴシツ ステップオシアゲ)

担 当 者 名： 施設長 加持 啓輔 (カモチ ケイスケ)

電 話 番 号： 03-3624-2735

F A X： 03-3624-2737

E - m a i l： kamoti@zb.wakwak.com

U R L： <https://www.tokyo-jikka-dojو.jp>